

令和7年度 ライラック心の会

企画

NPO法人ライラック心の会

趣旨

- 私たちは障がい者・その家族・支援等関係者についての理解促進活動を行います。
- 私たちの活動の概要は次の通りです。
- 精神障がい者や精神疾患の方が、近年増加傾向にも関わらず、いまだに偏見や誤解をされ社会での「生きづらさ」を多くの当事者やその家族が感じています。
- ピア（当事者）目線からの発信と支援で幅広い方々へ理解を得ると共に、誤解が解けるように取り組んでいきたいと思っています。
- 様々な精神的症状を持つ方に希望を持って治療やリハビリに取り組んでいただき、リカバリーに向けての支援を中心に活動していきます。

ライラック理事・役員

- 理事長 伊藤真弓
- 副理事 杉山恵美子
- 副理事 佐伯賢介（社会福祉士）
- 理事 田島美千代
- 監事 杉山 倅子
- 職員（社員） 北川悠子（相談）・小島由美（相談）・松本亮介（相談）
- 役員（社員） 浅見摩紀・茅孝之（愛川町議員）・佐々木忠裕
- 顧問（社員） 難波達哉（神奈川県会議員）

山下 康

（日本社会福祉士協会 理事・かながわ共同会 理事長）

- ・ 賛助会員アドバイザー 瀬戸崇史（MHWSW他、ピアサポーター）・小泉智史（南足柄市社協、ピアサポーター）
- ・ 山田義彦（KP所属）・前田暖子（MHWSW、ピアサポーター）・瀬戸真紀（MHWSW他、ピアサポーター）
- ・ 平良幸司（MHWSW、横浜市保土ヶ谷区生活支援センター所長）
- ・ 吉野 智さん （MHWSW、元厚労省障がい福祉専門官）

令和7年度 事業内容

① 相談支援事業（ライラック相談支援あつぎ）

- 1・計画相談（特定相談支援及び障がい児相談支援）
- 2・地域移行事業（指定一般相談支援）
- 3・触法計画相談

② ピアサポート事業

- 1・ピアカン講座（旧ピアカウンセリング入門講座）
- 2・ピアサポーター研修（基礎・専門・フォローアップ）
- 3・ピアサポーター育成事業（ピアサポーターフォロー）
- 4・自立生活事業（ピアサポーター受け皿事業）
- 5・神奈川県 障がい者ピアサポート研修 講師及びF A

③ 障害福祉総合コンサル事業

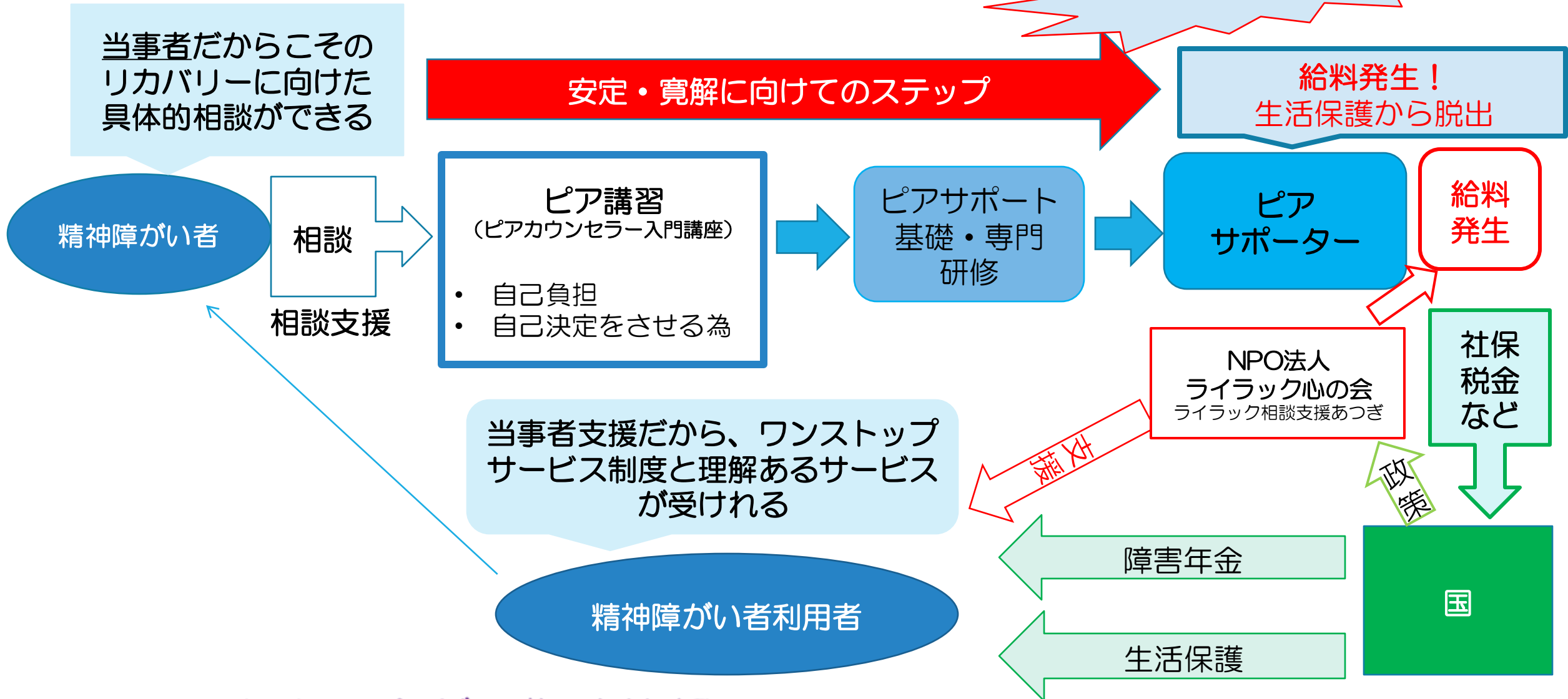
- 1・談話会（毎月第3金曜日 開催）
- 2・自殺防止活動
- 3・寺小屋ポニー 開催（思春期居場所プロジェクト）
- 4・有料相談（1時間 5,000円）
- 5・講師（ディーキャリアへの講師含む）

会費

* 社員とは・・・NPO法人は社団 法人ですので、社員とは社団の構成員で、具体的には総会に出席してNPO 法人の運営に参加する会員を指します。

社員	理事 監事	運営に直接かわり、企画収支についての 決定権がある 臨時総会・総会	年 20,000円
	役員	事業について理解し、売上を上げミッション を達成してくれる（職員） 総会・MTG・勉強会	年 15,000円
社員	正会員	事業について理解し、活動協力して いただける方 総会・会報紙	年 12,000円
	アドバイザー 賛助会員	事業について理解し、専門知識の部分で協力 していただける方 会報紙	年 5,000円
	賛助会員	事業について理解し、応援していただける方 会報紙	年 3,000円

精神障がい相互扶助



ライラック心の会が目指す仕組み

新しい福祉のカタチ ピアサポーター ～ライラックバージョン～ 働くプロのピアサポーターの育成を目指す

現在ピアサポーターの区別が無いので、ライラック独自の名称をつくりました

PSR



Peer Supporter Rookie ピア講座～ピアサポーター専門研修修了者

PSP



Peer Supporter Professional フォローアップ研修修了および実習修了者

ピアサポーター研修後、有料（年間費）にてライラックに登録。
実習・3か月毎のフォローアップ研修。
ピアサポーター相談窓口設置

働くプロのピアサポーターの育成を目指す



ライラック心の会から伝えられる

- ◆①精神障がいを持ちながら『社会復帰理事長』がいる。
- ◆②ピアサポーター育成にちからをいれている団体。
- ◆③福祉では難しい支援を当事者だからこそ伝えられる事がある。

- 「理解してほしい」と思うならまず「自分」から相手を理解する。
- 「大切にしてほしい」と思うならまず「自分」が自分を大切に思う。
- 「幸せになりたい」と思うならまずは「自分」が動くこと。

目標や夢を持つ⇒できる目的を持つ⇒自分自身のリカバリーストーリーを増やす

自分自身の強み・自信につながる

QOLの向上

- 1 精神障がい者・精神疾患の方が、自ら自身の健康維持管理方法・病識を学んでもらい自分自身のリカバリーそして社会復帰に向けての「きっかけ作り」の学びの場とする。
- 2 就労に向けての体調管理や自己管理についての学びの場とする。
- 3 仲間づくりの場とする。
- 4 社会復帰したピアサポーター
「ロールモデル」として自覚できる場とする。

ピアサポーターを目指すキッカケ作り

就労移行事業所 施設外支援の受け入れ

週5日 9時半～16時

- PCの練習 職員と同行し介舟打ち込みをしてもらう。
- 軽作業 パンフレットなどの印刷と折込・自殺防止の配布物作成。
- 福祉、接客 職員と同行し介舟打ち込みをしてもらう。
- その他 事務所掃除・電話対応・HPなど

企業へのピアサポーターへのご案内営業

- ピアサポーター研修へのご案内営業（中小企業）
- ピアカン講座のご案内（中小企業）
- デーキャリアの職員と一緒に営業活動
- なかぼつへのご案内
- ハローワークへの営業

②ライラックでのピアサポーターの受け皿として

思春期居場所『ポニー』へのボランティア活動

。ポニーの目的：13歳（中学生）～18歳までのADHDやASDなど療育手帳が取得できない思春期の子供たちの居場所づくり

- ①登校拒否による昼夜逆転防止
- ②SNS依存による犯罪・自死防止
- ③コミュニケーションの練習
- ④仲間作り

ライラック心の会
寺子屋 ポニー



→ピアサポーターとしてリカバリーストーリーを作り上げるための訓練の場

→自分の経験値が子供たちへの希望となるなど、自己肯定感作りの場

→SST

これからの 新しい福祉のかたち

ピアサポーターを活用する仕組み
ピアサポーターはボランティアではない

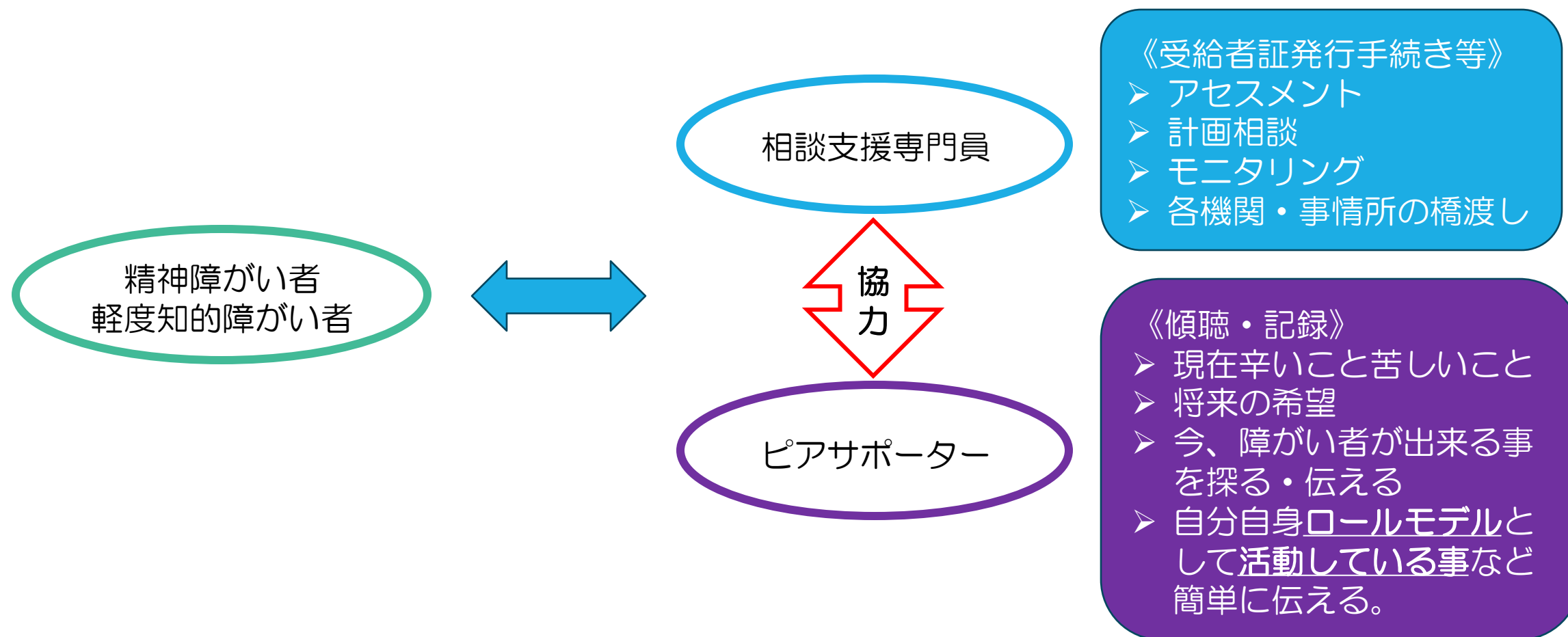
ライラックが考えるピアサポーター

どんな現場で活躍できる？

ピアサポーターの役割・必要性

その1

。障害関連でのピアサポーターの場合（相談支援事業所）



ピアスタッフ・ライラック相談支援の相談支援員として育成

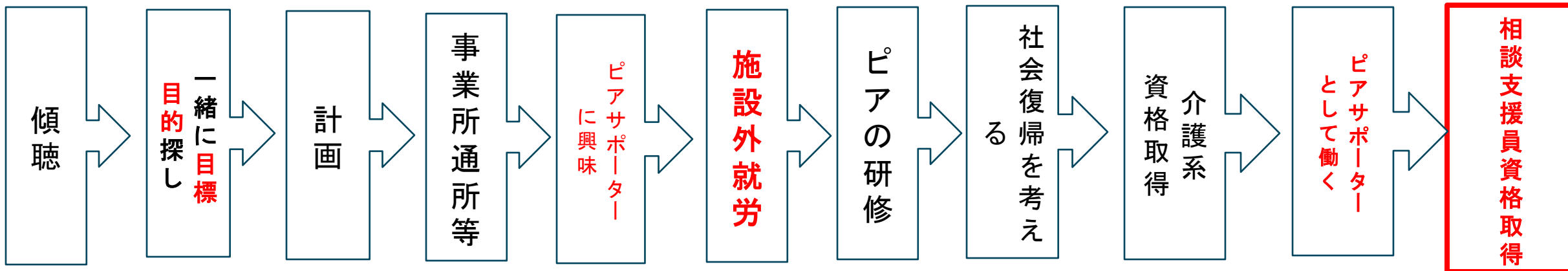
現状の問題点（支援員として感じること）

障がい者だから・・・と必ず付けたし
言い訳をする。共感を求める。

引きこもり 等

当事者に「障がい者だから」の言い訳は通用しない

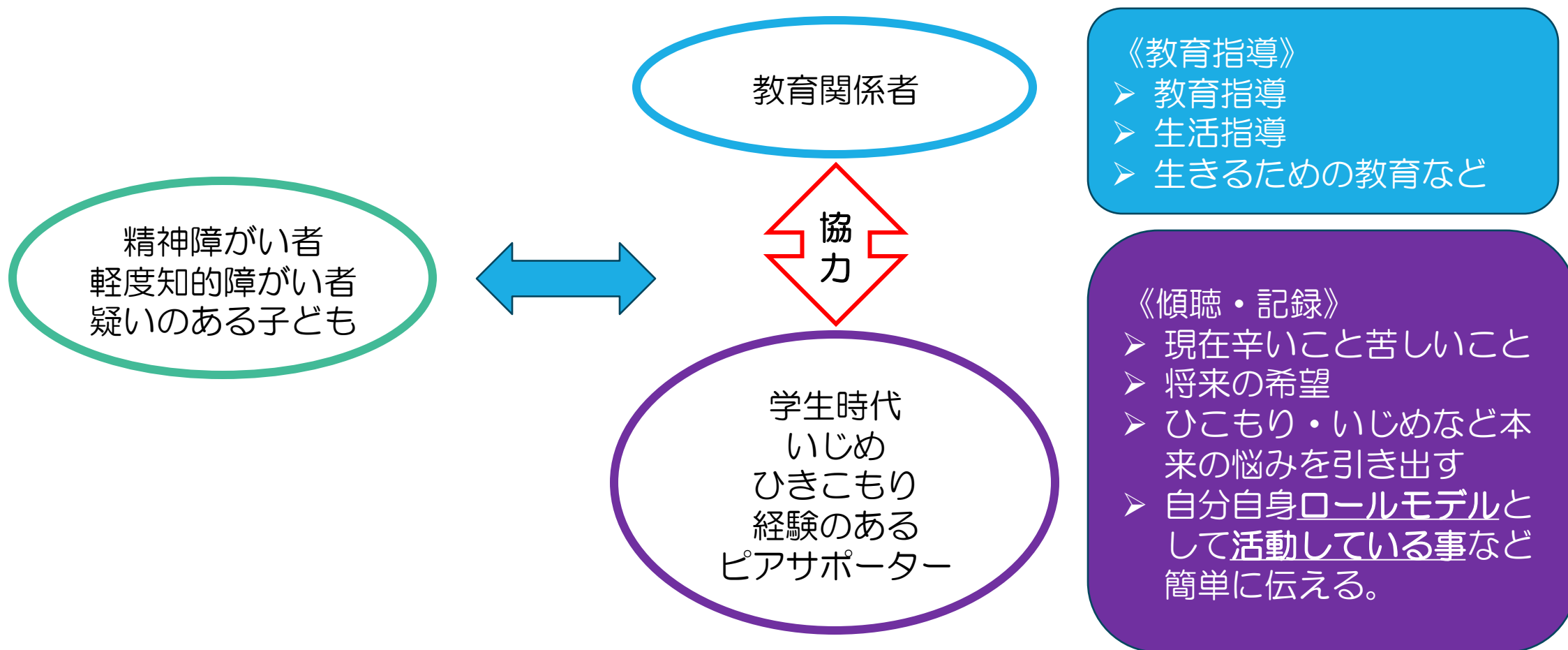
ピアサポーターの強み



ピア相談支援員が支援することでの障がい者の気持ちに希望が芽生える

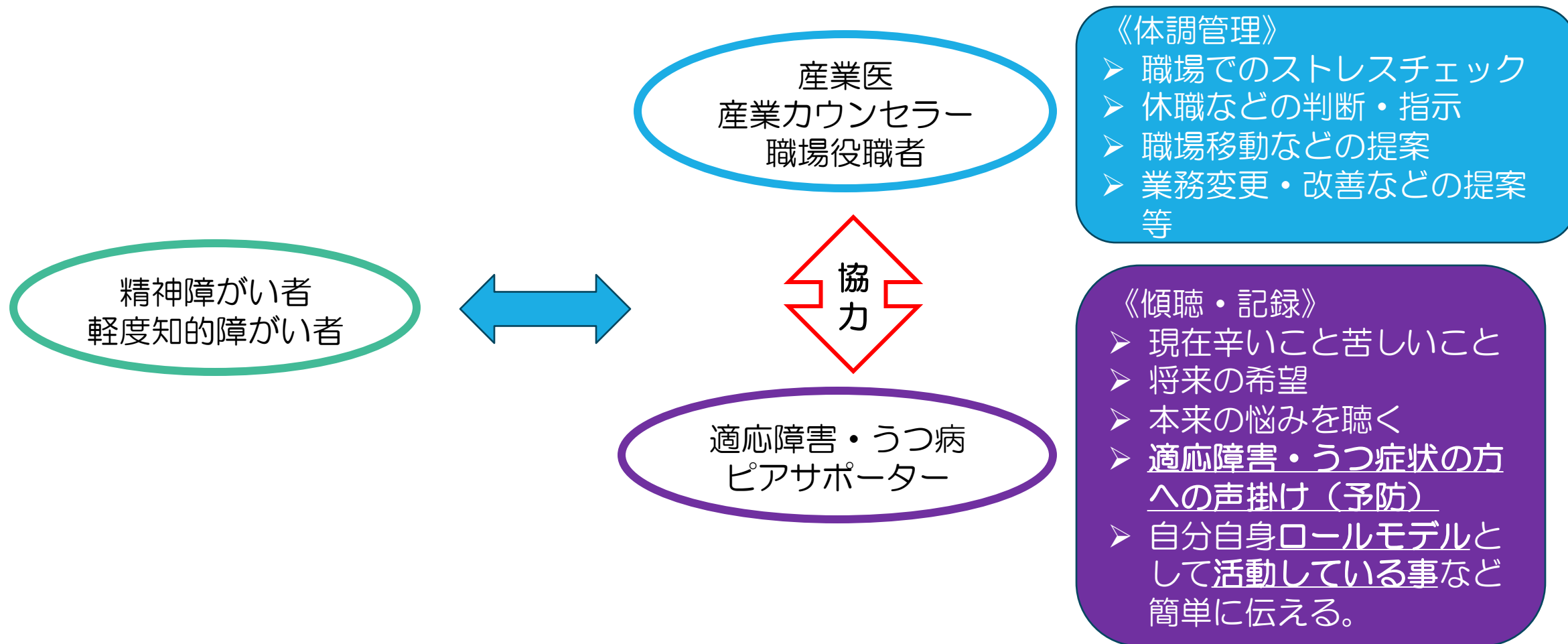
ピアサポーターの役割・必要性 その3

。学校関連でのピアサポーターの場合（いじめ・引きこもりなど）



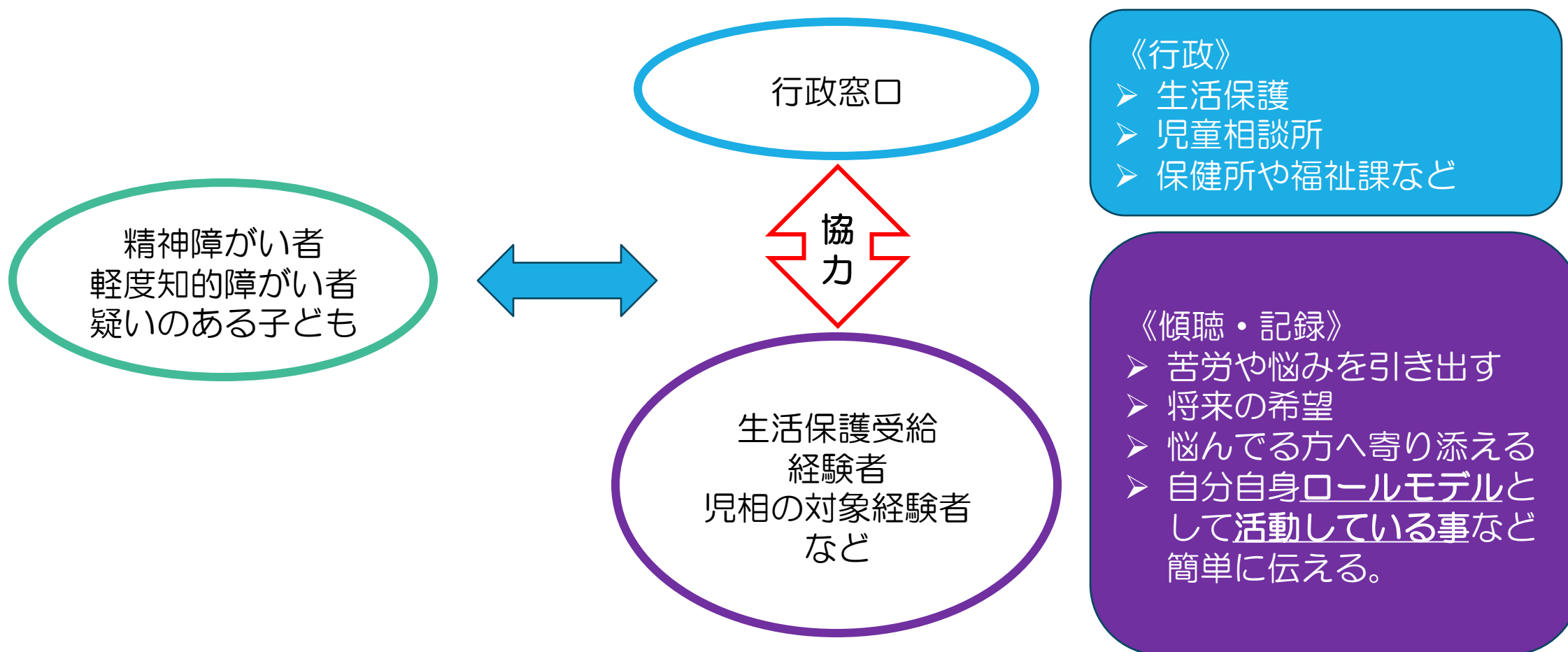
ピアサポーターの役割・必要性 その2

。企業関連でのピアサポーターの場合（社員の場合）



ピアサポーターの役割・必要性 その4

◦ 行政関連でのピアサポーターの場合（各種手続きなど）



ピアサポーターの役割・必要性 その5

。触法でのピアサポーターの場合

